

農業・園芸に親しむことは よりよい未来へ繋がる

●農業と園芸の新しい価値を

この施設は歴史がととても深い。伊達家31代当主伊達邦宗が「養種園」を開園したのが前身。農業振興のための技術や品種改良を行い、仙台白菜など地場野菜を開発していた。若林区役所新設のため、1989年に現在の場所に移転。東日本大震災では津波で被災したが、仙台市の公募で受託した、日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体と仙台ターミナルビルの運営で、2016年4月にリニューアルオープン。新しい農業と園芸の価値を育もうとしている。

●住みよい未来を育む場所に

ここは、大きく分けて二つのテーマがある。四季折々の草花が楽しめる花壇や広場、農や自然に親しむイベントやワークショップ、地場食材を使った飲食店、市民農園の運営などの「農と触れ合う交流拠点」。観光果樹園を活用し、栽培研修や複合経営を学べる就農のための「収益性の高い農業推進支援拠点」だ。所長いわく「自然に寄り添って生きることが、今後のライフスタイルの主流になると思います。農業・園芸は自然の生業。例えば、子どもたちが田植えをし、収穫した米をおにぎりにして食べるワークショップでは、自然の恵みを知ることができる。みなさんがこの施設で、楽しみながら農と触れ合ってもらおうことで、自然の恵みに感謝し、自然を大切にする心を育みたい。その心は、少しずつサスティナブル(持続可能)な社会に繋がると思うんです」。



せんだいわらアート。イノシシは、七郷小の昨年の4年生が育てたみやぎ米「だて正夢」のワラを使っている。(せんだい麦わらアート実行委員会制作)



file no.6
坂本 邦雄さん
地域に根付く「地域のプロ」にインタビュー。6回目は、「せんだい農業園芸センター みどりの杜」で所長を務める坂本さんです。

これからの季節は
わらアート、
冬はイルミネーションが
楽しめます。



せんだい農業園芸センター みどりの杜

所 仙台市若林区荒井字切新田13-1

営 3月～10月9:00～17:00、

11月～2月9:00～16:00

休 月曜(祝日の場合は翌平日休)、
年末年始

※入園料無料※ただし、イベントや
体験などは有料

☎ 022-288-0811

果樹園受付 022-762-9688

<http://sendai-nogyo-engei-center.jp/>